

あの日を忘れないために

東日本大震災から6年となる3月11日、震災の経験を未来へ伝え、犠牲になられた方へ思いを寄せるため、市内各所できまざまな催しが行われました。



津波避難訓練



午前6時から行われた宮古市津波避難訓練には1980人の市民が参加し、災害時の対応を確認しました。宮古小学校では4年生の児童と地元町内会が協力して避難所を運営し、避難者へ毛布の配布や保存米の炊き出しなどを行いました。



宮古市東日本大震災追悼式は市民文化会館で行われました。山本正徳市長は式辞で「時の経過による大震災の風化が懸念されている。犠牲となられた方々のためにも震災の経験と教訓を語り継いでいきたい」と述べました。また田老地区の防潮堤では地元住民らが海に向かって一列になり、地震発生時刻の午後2時46分に黙とう。犠牲者の冥福を祈りました。

東日本大震災追悼の催し



災害公営住宅の入居者を募集します

東日本大震災で被災し、災害公営住宅への入居を検討している人はご相談ください。

■ 申し込み資格 次の条件を満たす世帯

- ① 居住していた住宅が被災し、り災判定が全壊または大規模半壊であり、その住宅が無くなっていること
- ② 仮設住宅（みなし仮設住宅）

宅含む）や避難先に居住し、現に居住できる住宅を所有していないこと

■ 申込期間 4月3日（月）～14日（金）の午前8時30分～午後5時15分（土日は除く）

※ 県営住宅は随時申込可

■ 対象

▽ 新規に入居を希望する人
▽ 入居する住居が決定していない人 ※ 応募者多数の団地は抽選会を行います

■ 申し込み方法 「申込用紙」

に「り災証明書のコピー」を添付し、持参または郵送

※ 家族単位で申し込みください

※ 申し込みが簡素化されます

■ 「申込書」「入居申し込みのしおり」配布先

市建築住宅課、各総合事務所、各出張所、市営住宅管理センター

※ 住宅の位置や間取りなども掲載しています

■ 申込先・問い合わせ

【市営】

▽ 市建築住宅課公営住宅係（市役所5階、〒027・8501住所不要、☎9107）
▽ 市営住宅管理センター（〒027・0082向町3の14、☎5600）

【県営】

▽ 県宮古土木センター（合同庁舎3階、〒027・0072五月町1の20、☎42221）
▽ 県建築住宅センター（〒020・0045盛岡市盛岡駅西通1の7の1、☎019・623・4414）

■ 募集する団地

	住宅名	1DK	2K	2DK	3DK	車いす対応	
						1DK	2DK
市営	田老三王		2				
	田老			1	1		
	崎山			1	4		
	日の出町			1			
	港町		1		1		
	山口			6			
	近内1号棟				3	1	
	近内2号棟				3		
	西ヶ丘				2		
	金浜			1	1		
	赤前		1	1			
	本町			1			
津軽石			1	1			
県営	佐原第二				3		
	八木沢第二	1		6			2

中心市街地拠点施設整備事業 工事の進ちょくをお知らせします

昨年10月から本格的な工事に入り、杭工事を終わりました。3月から基礎工事に入り、鉄筋工事では杭と杭をつなぎ合わせ、基礎の骨組みを作り、型枠にコンクリートを流し込む作業を行っています。詳しくは市ホームページ（http://www.city.miyako.iwate.jp/fukkou/kensetsukouji_sintyoku.html）で情報紙を毎月公開していますのでご覧ください。



なお4月から宮古駅前にて、避難通路（自由通路）整備工事が始まります。付近の通行にご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

■ 問い合わせ 市復興推進課拠点施設推進室（☎68-9089）



工事が進む宮古駅南側